

# 2024年度 IWE/T/S 国際溶接技術者 特認コース募集要項

## 1. 応募方法（申請に必要な書類の準備/提出）

応募者は以下の＜応募申請書類＞を JWES-HP よりダウンロードして準備し、J-ANB 事務局へ上記期間内に提出してください。なお、応募者が少なく、試験実施が困難な場合は、次来年度以降に延期される可能性があることを予めご承知おきください。

**★応募受付期間：2024年4月1日（月）～8月09日（金）**

＜お問い合わせ先＞（一社）日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局（立花）

E-mail : [tomoyuki\\_tachibana@jwes.or.jp](mailto:tomoyuki_tachibana@jwes.or.jp)

TEL : 03-5823-6325 FAX : 03-5823-5211

### ＜応募申請書類＞

- ①「受験申請書表紙」, 裏面に「卒業証書（学位記）の写し」または「卒業証明書」を添付の事。
- ②「学歴記入表」
- ③「職務経歴証明書」（第三者証明が必要）  
IWE：直近の6年間で、4年以上 IWE 相当の業務に従事していたことを証明する文書。  
IWT：直近の6年間で、4年以上 IWT 相当の業務に従事していたことを証明する文書。  
IWS：工業高校卒の場合、直近の6年間で、3年以上 IWS 相当の業務に従事していたことを証明する文書。工業高校以外の高校・学校卒業の場合、通算6年以上 IWS 相当の業務に従事していたことを証明する文書。
- ④「有効な(失効していない)WES 認証者適格性証明書の写し」。  
※更新手続き中の方は、登録料納入票写しで可。
- ⑤各モジュールのシラバス項目毎の「スコアリングポイント表」  
※詳細は、**【IWE/T/S 特認コース 2024年度受験案内】**を参照下さい。
  - 1) 大学等で履修した内容、溶接学会及び日本溶接協会等で受講した講習会やセミナーなどについても、「スコアリングポイント表」で自己申告下さい。
  - 2) ポイントの取得証明文書
    - (a) 大学等で単位取得した科目を証明する成績証明書または単位取得証明書。
    - (b) 溶接学会及び日本溶接協会等で受講した講習会・セミナーの受講証明書(コピー)等。
    - (c) 有効な WES8103 の資格証(コピー)。

## 2. J-ANB による詳細書類審査

応募者から提出された関係書類の妥当性、客観性などについて詳細に審査し、審査通過者には「技術面接」と「IIW 共通 DB 試験」を受けて頂きます。

## 3. 技術面接（テクニカルインタビュー）と共通 DB 試験：7月～9月中旬

### 3-1. 「技術面接」

- ・受験者一人当たりの最小面接時間は、IWE は 120 分、IWT は 90 分、IWS は 60 分とします。
- ・面接目的は、IWE/IWT/IWS の受験者が、各資格レベルで期待されるモジュール 1～4 のシラバス項目毎の知識と論理的応用力を有するか否か、等の確認です。
- ・技術面接の結果、十分（合格レベル）と判断された受験者は、「プロジェクトワーク」をスキップして、最終筆記試験に進んで頂きます。

### 3-2. 「IIW 共通 DB 試験」

- ・受験者は上記面接の前又は後に、IIW 共通 DB 試験を(2時間の選択式筆記試験)を受けて頂きます。なお「IIW 共通 DB 試験」は、将来的に各国の試験レベルの整合性を担保する為の試験問題ですが、日本では IWE/IWT/IWS の資格認証の可否判断には用いず、参考データとして IIW に報告する目的のみで実施しております。

## 4. プロジェクトワーク (Project work)

- ・技術面接の結果、不十分（合格ではない）と判断された受験者は、「プロジェクトワーク」を受講して頂きます。
- ・「プロジェクトワーク」とは、知識の応用力、問題解決能力を調べるため、指定されたテーマに対して各自が予習し、数名のチーム編成によるケーススタディ(集合研修)を行います。予習報告書、最終報告書及びケーススタディでの発表内容が審査・評価されます。なお、テーマについては必ずしも応募者の経験、現在の職務内容と一致するとは限りません。

- ① 予習報告書の作成：**予習期間：2024年9月中旬～10月中旬の間の約4週間**

J-ANB より配布されたプロジェクトワーク案内に基づいて予習を行い、その結果を予習

報告書としてケーススタディの前に J-ANB へ提出します。

② ケーススタディ (集合研修)

日程：2024 年 10 月 24 日(木)、25 日(金)、26 日(土)の3日間の予定

場所：大阪大学接合科学研究所(茨木市)、最終日に成果発表会を行う。

③ 最終報告書の提出

ケーススタディ終了後、2 週間以内に最終報告書を J-ANB 事務局へ提出して下さい。

## 5. 最終試験

最終試験は、モジュール 1~4 の 4 分野について、筆記試験が行われます。可否はモジュール毎に判定されます。

なお、IWE は筆記試験に加えて口述試験も行います。但し、4 モジュール全ての筆記試験の得点率が 75% を超えると口述試験が免除されますが、75% の得点率に満たないモジュールがある場合、そのモジュールを対象とした口述試験を実施します。

IWT/IWS 受験者で筆記試験の得点率が 60% 未満でボーダライン上にある場合には、そのモジュールを対象とした口述試験を実施します。

① 最終筆記試験

・日程：2024 年 11 月 23 日(土)

・場所：国立大学法人 大阪大学接合科学研究所 (応募状況によって、東京会場も増設)

・試験時間：

IWE：モジュール当たり 2 時間、計 8 時間 (AM 2 モジュール、PM 2 モジュール)

IWT：モジュールあたり 1.5 時間、計 6 時間 (AM 2 モジュール、PM 2 モジュール)

IWS：モジュールあたり 1 時間、計 4 時間 (AM のみ 4 モジュール)

② 口述試験

・日程：2024 年 12 月 7 日(土)

・場所：国立大学法人 大阪大学接合科学研究所

口述試験は筆記試験の結果 (得点) に応じて該当者が決定されます。

筆記試験終了後、1 週間以内に該当者に通知します。

## 6. 合否通知、登録及び履修証明書 (ディプロマ) 発行

合否通知：2024 年 12 月末

登録期間：2025 年 1 月中旬迄

履修証明書 (ディプロマ) 発行予定：2025 年 2 月 1 日付け

## 7. 受験料

① 申請時納入：書類審査、技術面接及び最終筆記試験料の計：82,500 円 (消費税 10% 込み)

② 技術面接の結果によりプロジェクトワークを受講する場合：75,900 円 (消費税 10% 込み)

③ 最終筆記試験結果により、最終口述試験を受験する場合、下記の口述試験料が追加されます。  
27,500 円 (消費税 10% 込み)

④ 合格後に納入：登録及び証明書 (ディプロマ)、プラスチックカード発行料  
24,620 円 (消費税 10% 込み)

<プロジェクトワーク無しの場合の総額>

総額 1：107,120 円 (①+④：口述試験なし、または免除された場合)

総額 2：134,620 円 (①+③+④：口述試験を受験した場合)

## 8. 再受験\*

※やむを得ない事情により最終筆記試験を受験しなかった場合、もしくは当該年度の最終試験の特定モジュールが不合格であった場合、J-ANB の認証規則に従い 15 ヶ月以内の再受験が認められており、次年度の最終筆記試験 (当該モジュール) を再受験する権利があります。詳細は、J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

## 9. 提訴\*

※認証の決定に異議を申し立てる者は、決定通知の日より 60 日以内に、J-ANB 委員会に書類を付して提訴することが出来ます。詳細は、J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

# 新規開講

IIW 国際溶接検査技術者 資格制度

## 「IWIP 特認コース」2024年度受験案内

IIW/EFW 資格日本認証機構（J-ANB）事務局

### 1. IWIP（International Welding Inspection Personnel）特認コースとは？

IIW 国際溶接検査技術者資格には、IWI-C(International Welding Inspector-Comprehensive Level)、IWI-S（同-Standard level）及び IWI-B（同-Basic Level）の3種類の資格があります。

この「特認コース」は、それぞれの資格に相当する知識を、前もって修得していることを証明することで、長期間の教育を受講することなく最終試験に進むことができ、IIW 資格制度の日本における実施機関として、唯一認定された IIW 資格日本認証機構（以下 J-ANB）が実施する IIW 国際溶接検査技術者(IWIP)資格を取得するためのコースの一つです。

知識を修得していることの証明は、「IIW 履修ポイント」と呼ばれるポイント数が規定値以上であることを示さなければなりません。

IIW 履修ポイントが規定値以上であること、学歴及び業務経験年数の受験条件を満足していることが確認された後、プロフェッショナルインタビュー、プロジェクトワークに進み、最終試験に合格すれば IIW 国際溶接検査技術者資格を取得することができます。

### 2. IWIP 資格の取得意義

欧州の政府や企業が関係する溶接工事・製造案件の受注や工事の遂行において、仕様書に IIW-IWIP 資格者による溶接品質の確認が必須条件と明記されるケースが多く見受けられます。

この要求事項がない場合でも、工事仕様書に「溶接工程における品質管理は IIW-IWIP 資格者が実施すること」と明記することで、客先に対して信頼感を与えるという「アドバンテージ」があります。

### 3. IWIP 特認コースの受験に必要な条件とは？

IIW 国際溶接検査技術者資格（IWI-C、IWI-S、及び IWI-B）の受験条件を表-1.に示します。

表-1. 資格の種類に対応する受験条件

種類	受験条件（アクセスコンディション）
IWI-C	① 工科大学及び短大(修業2年以上)、又は工業専門学校(修業2年以上)の卒業生。 ② 受験前の直近4年間で、IWI-C 相当の業務経験が3年以上あること。 ③ IIW 履修ポイントが IWI-C の規定値以上。
IWI-S	① 工科大学、又は工業系高等学校、又は職業訓練高校、又は溶接工科大学(修業3年以上)の卒業生で、年齢は20歳以上の者、又は上記以外高等学校の卒業生で、年齢は20歳以上、溶接の実務経験5年以上を有する者。 ② 受験前の直近3年間で、IWI-S 相当の業務経験が2年以上あること。 ③ IIW 履修ポイントが IWI-S の規定値以上。
IWI-B	① IWI-S の①と同じ学歴。 ② 受験前の直近2年間で、IWI-B 相当の業務経験があること。 ③ IIW 履修ポイントが IWI-B の規定値以上。

### 4. IWIP 特認コースに必要な IIW 履修ポイントとその取得方法

表-2.に資格の種類に対応する必須保有資格及び必須受講コースを、表-3.に各技術分野の詳細と必要

なポイントを示します。表-3.に示す溶接技術(WT)モジュールの4分野(サブモジュール:SM)及び溶接検査(WI)モジュールの各SMにおいて、IIW 国際溶接検査技術者に要求されている知識を、IIW 履修ポイントとして小計の50%以上を取得していることが受験条件の1つとなります。

これらのポイントは、以下により取得することができます。

-受験者が、JIS Z 3410/WES 8103 による WES 溶接管理技術者資格者及びであり、かつ J-ANB が承認した外観検査コース、未取得の資格の非破壊検査(NDI)コース及び理論・実技試験対応講座を受講した場合、各 SM の履修ポイントの 50%以上が与えられ、受験申請できます。WES 溶接管理技術者資格者及び JSNDI 非破壊検査資格者であっても、前述のコースを受講しないとこれらの 50%以上のポイントを獲得できず、受験不可となります。

受験者は、図-1.に示す IIW 履修ポイントの規定値を満足し、学歴と職務経験年数の条件を満足すれば、相応する IWIP 資格の受験が可能です。

表-2. 資格の種類に対応する必須保有資格及び必須受講コース

受験 IWIP 資格	必須保有資格		必須受講コース		
	溶接資格	非破壊検査資格(JSNDI)	外観検査(VT)	非破壊検査(RT/UT/PT/MT)	理論・実技試験対応
IWI-C	IWT or IWE or WES 特別級	最少(限)レベル2又はレベル3の2資格(但し1資格はレベル3かつ1資格は体積検査、1資格は表面検査)	履修	未取得の NDI 資格のコースの履修(*)	履修
IWI-S	IWS or IWT or IWE or WES1 級	最少(限)レベル2の2資格(但し1資格は体積検査、1資格は表面検査)	履修	未取得の NDI 資格のコースの履修(*)	履修
IWI-B	IWP or IWS or IWT or IWE or WES2 級	最少(限)レベル1の2資格(但し1資格は体積検査、1資格は表面検査)	履修	未取得の NDI 資格のコースの履修(*)	履修

(\*)必須受講コースの例示：相応する RT 及び PT の資格を保有の場合、UT 及び MT コースの受講が必須です。

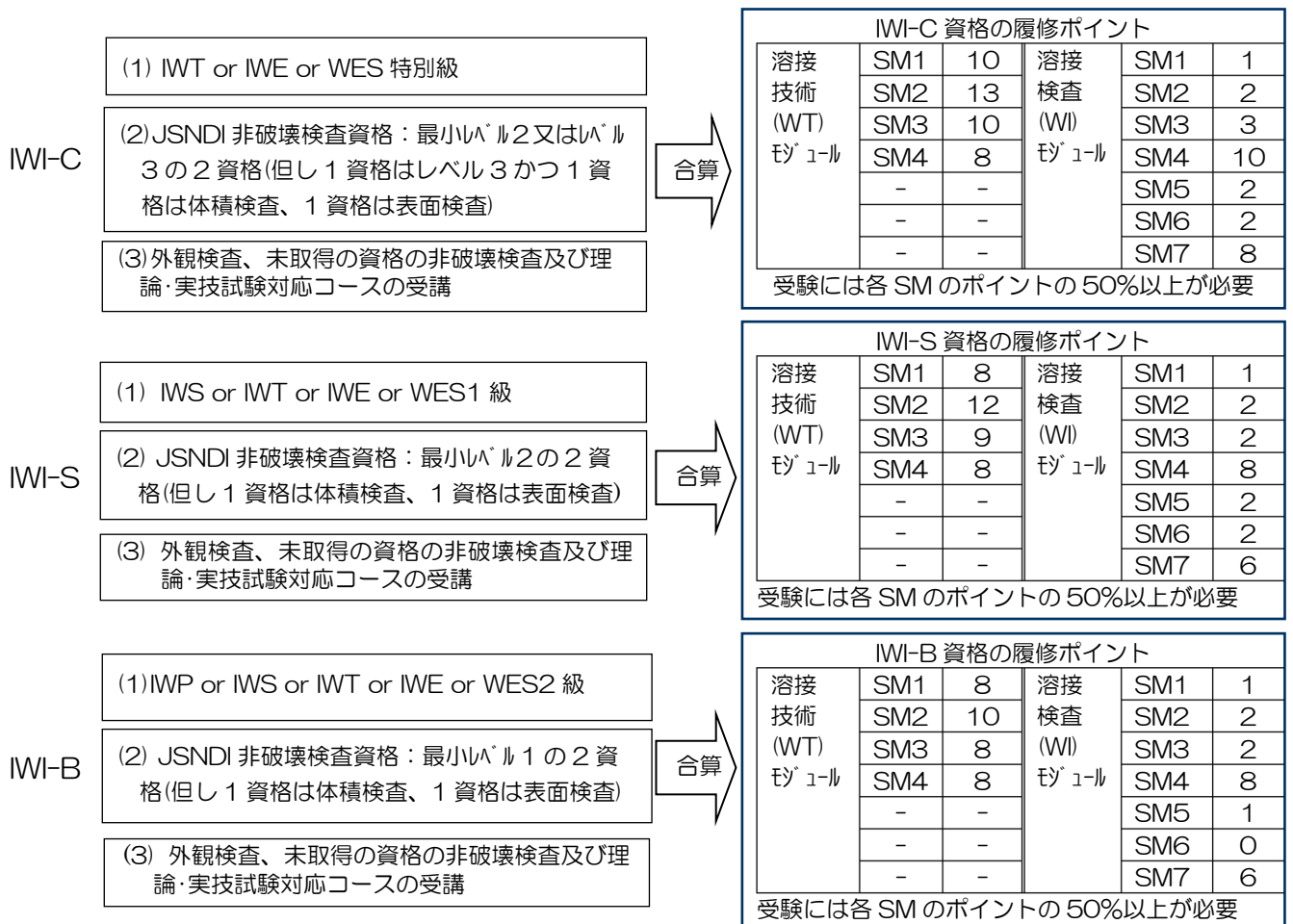


図-1. IIW 履修ポイントとその取得方法

表-3. IWIP 特認コースの履修項目とIWI 履修ポイント

〈溶接技術(WT)モジュール〉

特認コースが要求する履修内容		IWI 履修ポイント		
サブモジュール(SM) 1 (溶接法・機器)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
111	被覆アーク溶接	2	2	2
141, 15	ティグ溶接およびプラズマ溶接	2	2	2
131, 135	ミグ溶接およびマグ溶接	2	2	2
114,136,137	セルフシールドアーク溶接, スラグ系/メタル系 FCW 溶接	1	1	1
91, 93, 97	ろう付け, アークブレーシング	1	0.5	0
81, 82, 83	ガス切断, アーク切断, プラズマ切断	0.5	0.5	1
12	サブマージアーク溶接	1	0	0
-	その他の溶接法	0.5	0	0
小 計		10	8	8

サブモジュール(SM) 2 (材料・溶接性)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
炭素鋼および炭素-マンガン鋼 (ISO/TR 15608 分類 1-3, 11)		3	3	3
低合金耐クリープ鋼 (ISO/TR 15608 分類 4-6)		2	2	2
フェライト系ステンレス鋼およびマルテンサイト系ステンレス鋼 (ISO/TR15608 分類7)		3	2	2
オーステナイト系ステンレス鋼および2相ステンレス鋼 (ISO/TR 15608 分類 8, 10)		1	1	1
極低温用低合金鋼 (Max.10% Ni) (ISO/TR 15608 分類9)		1	1	1
アルミニウムおよびアルミニウム合金 (ISO/TR 15608 分類 21-26)		1	1	1
ニッケルおよびニッケル合金 (ISO/TR 15608 分類 41-48)		1	1	0
鋳鉄および鋳鋼 (ISO/TR 15608 分類 71-76)		1	1	0
小 計		13	12	10

サブモジュール(SM) 3 (設計・力学)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
応力とひずみ		3	3	2
静的荷重を主とする溶接構造物の設計		1	1	2
動的荷重を受ける溶接構造物の設計		1	1	1
継手設計および溶接構造物の設計原理		3	2	2
アルミニウムとその合金構造物の設計		2	2	1
小 計		10	9	8

サブモジュール(SM) 4 (施工・管理)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
溶接構造物建造における品質保証概論		1	1	1
製造時の品質管理		1	1	1
溶接応力および変形		2	2	2
工場設備, 治工具および取付治具		1	1	1
非破壊試験		1	1	1
補修溶接		1	1	1
健康と安全		1	1	1
小 計		8	8	8

〈溶接検査(WI)モジュール〉

溶接検査のサブモジュール(SM)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
1	溶接検査概論	1	1	1
2	破壊試験及び非破壊試験概論	2	2	2
3	溶接不全部	3	2	2
4	破壊試験及び非破壊試験方法	10	8	8
5	品質保証	2	2	1
6	検査機能の管理	2	2	0
7	溶接検査の実務	8	6	6
小 計		28	23	20

## 5. IWIP 特認コースの流れ

申請から最終試験までの流れを以下に示します。

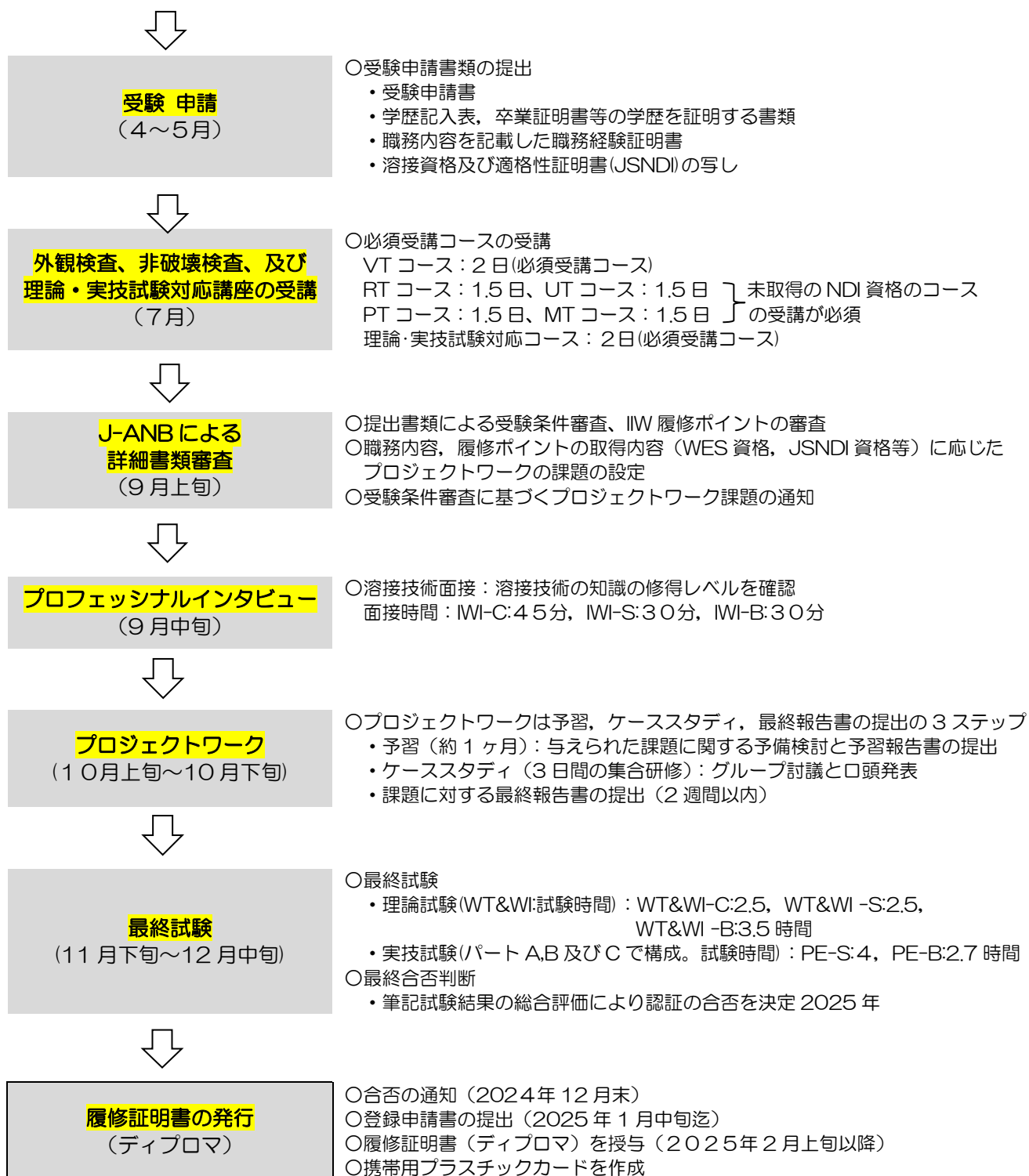


図-2. IWIP 特認コースの流れ

## 6. 問合せ先

(一社)日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局(立花) TEL: 03-5823-6325 FAX: 03-5823-5211